事業終了報告　概要表*（1頁以内）*

|  |  |
| --- | --- |
| プログラム名 | （初動対応期、緊急対応期） |
| 事業名 |  |
| 開始日 | 年　月　日 | 終了日 | 年　月　日 | 日数 | 日間 |
| 団体名（提携団体名） |  | 担当者名(Email) |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| JPF助成総額 | 円 | 区分：政府支援金　　円、民間資金　　円 |
| 支出額 | 円 | ％ |  | 日本国内（都市名） | 事業対象国名 |
| 直接事業費 | 円 | （　％） |
| 間接事業費 | 円 | （　％） | 国際スタッフ | 人役 | 人役 |
| 返還金額 | 円 | ％ | 現地スタッフ |  | 人役 |

|  |  |
| --- | --- |
| 事業目的*（事業計画書から転記）* |  |
| アウトカム*（事業計画書から転記）* |  |
| アウトカム指標の達成度 |  | 計画 |  |
| 実績 |  |
|  | 計画 |  |
| 実績 |  |
| 事業全体としての効果（概要） |  |
| アウトプットの達成度とそこから得た学び*（「アウトプットと指標の達成度、そこから得た学び」に記載の要約をコンポーネントごとに記載）* | 裨益者（誰が、何人）*（指標の達成度を含む）* |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

事業終了報告書*（原則8頁以内）*

1. アウトカム*（事業介入によって達成を目指したアウトカム目標の達成状況を説明。アウトカム達成のための貢献要因、阻害要因等を記載。事業計画書に基づく）*
2. 事業全体としての効果*（事業地名も明記のこと。定性的成果も記載。）*
3. 事業計画変更の記録*（変更申請の対象となるもの）*

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 承認日 | 変更区分 | 変更内容の概要 |
|  |  |  |
|  |  |  |

1. アウトプットの達成度とそこから得た学び（コンポ―ネント別）
	1. コンポーネント1：*（事業に合わせて見出しを書き変え）*
2. 配布物、設置物、研修等の詳細

|  |  |
| --- | --- |
| 計画*（数値等、事業計画書に基づく）* | 実施が計画と異なる点があれば記載 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

1. アウトプットの達成度（以下の3つから選択）
	* 1. 計画以上に達成した　2. 計画通りに達成した　3. 計画通りには達成できなかった
2. 達成度を判断した理由とそこから得た学び

* 1. コンポーネント2：*（事業に合わせて見出しを書き変え）*
1. 配布物、設置物、研修等の詳細

|  |  |
| --- | --- |
| 計画*（数値等、事業計画書に基づく）* | 実施が計画と異なる点があれば記載 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

1. アウトプットの達成度（以下の3つから選択）
2. 計画以上に達成した　2. 計画通りに達成した　3. 計画通りには達成できなかった
3. 達成度を判断した理由とそこから得た学び
	1. コンポーネント3：*（事業に合わせて見出しを書き変え）*
4. 配布物、設置物、研修等の詳細

|  |  |
| --- | --- |
| 計画*（数値等、事業計画書に基づく）* | 実施が計画と異なる点があれば記載 |
|  |  |
|  |  |
|  |  |

1. アウトプットの達成度（以下の3つから選択）

1. 計画以上に達成した　2. 計画通りに達成した　3. 計画通りには達成できなかった

1. 達成度を判断した理由とそこから得た学び
2. 事業の自己評価とその根拠
	1. 事業計画・実施の妥当性・適切性（Relevance/Appropriateness）

*・地域のどのようなニーズと優先順位を把握し、どのようにそれに対応できたか。*

*・地域の主体性をどの程度重視し、それに応じて信頼性を満たした事業実施ができていたか。*

*・カウンターパートの選択や協力の仕方は適切であったかどうか。*

* 1. 事業の連結性または持続可能性（Connectedness or Sustainability）

*＜短期の災害支援活動の場合＞*

*・中長期の活動への連結性がどのように確保されたか、中長期に想定される課題をどのように念頭に置いて活動したか。*

*＜中長期の復興支援、人道支援の場合＞*

*・事業計画書に記載の「持続発展性」はどの程度達成されたか。*

*・事業撤退後に事業効果/便益が継続するように、どのような仕組み作りを行なったか。どのような出口戦略を取ったか。*

* 1. 事業実施における効率性（Efficiency）

*・インプット（資金、技術、知識、時間等）に対していかに適切なアウトプット（事業の効果や裨益者の便益）が得られたか。*

*・他のアプローチと比較した場合、最も効果的なプロセスが採用されていたかどうか。*

*・事業地の人材、技術等のリソースを十分に活用できたかどうか。*

* 1. 事業実施における有効性（Effectiveness/Timeliness）

*・事業目標はどの程度達成されたか（事業全体について）。目標達成を促進した要素、障害となった要素は何であったのか。*

*・タイミングのよい事業であったどうか。*

*・初動対応の場合、十分に迅速な支援が実施できたか。今後さらに改善の余地はあるとしたらどのようなことか。*

* 1. 事業実施に際しての調整（Coordination）

*・国や行政の政策や、他の支援団体とどのように連携・調整をした上で事業を実施したか。*

*・国連のクラスター会合、受入れ国政府等とどのように連携・調整を行なって事業を実施したか。*

* 1. 事業実施によるインパクト（Impact）

*・事業を実施したことにより、個々の裨益者に対して、社会・経済・技術・環境、平和構築等、どのような広義の効果があったか。意図した効果と、意図しなかった効果、肯定的な効果と否定的な効果について、該当することをそれぞれ記載する。*

*・短期の災害支援等で該当しない場合は記述の必要は無い。*

* 1. 人道支援の必須基準（CHS）及びスフィア・スタンダードへの適合性（Observance of CHS / Sphere Standard ）

*・CHSとスフィア･スタンダードに定められている基準を満たすよう努めた事業を行なったか。*

*・できなかった場合はどのような問題があったか。*

1. 事業管理体制*（上手くいった点、いかなかった点を、理由を含め記載）*

（１）人員配置

（２）資金管理

（３）安全管理体制

1. 想定していたリスクへの対応*（想定していたリスクに対応した場合のみ記載）*
2. 広報実績*（JPF事業に関する広報実績を中心に記載）*
3. その他の報告事項